

戦跡紹介

大阪府傷痍軍人会・同妻の碑

この碑は、1992(平成4)年3月に「大阪府傷痍軍人会・同妻の会」によって建てられました。

碑文には、戦争の残酷さ、苦しさを知った戦傷病者とその妻が永遠の願いをこめて植樹したことや、このことをいつまでも知っていてほしいという思いが書かれています。

「大阪府傷痍軍人会・同妻の会」は、2014(平成26)年3月に解散しましたが、この碑は今もその思いを伝え続けています。

大阪城公園内（ピースおおさか付近）



ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示等の催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。
会費	◇個人会員 年額2千円 ◇団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行) ◇郵便局振込(ゆうちょ銀行)

平和寄金へ ご寄附のお願い

特別展や企画事業などは、寄附金(平和寄金)をもとに実施しています。戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へしっかり引き継いでいくため、平和寄金にご寄附をお願いいたします。
※寄附金は「寄附金控除」の対象になり、税の優遇措置が受けられます。

銀行振込※	寄附申込書を振込手続きの前に当財団事務局へ郵送又はファックスをしてください
送金	当財団事務局へ送金いただく際、寄附申込書を同封してください
持参	寄附申込書を当財団事務局へ持参ください (なお、持参日を事前にお知らせください)

※銀行への振込口座につきましては、ピースおおさかまでお問い合わせください。
※寄附申込書は当館又はHPからダウンロードして取得できます。

<平和寄金へご寄附いただいた皆様>

北村嘉子、田谷且子、金児曉嗣、飯田清和(匿名ご希望の方を除く)
(平成27年4月～平成28年12月間に1万円以上ご寄附の方。敬称省略)
ご寄附いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

いのちへのメッセージ

～ピースおおさかの展示を見た感想や平和に対しての思いなど～

- 戦争というのは、何も知らない人のことを自分の手で殺すことで、何の意味のないことです。
悪くない人も殺されて…胸がいたいです。
でも、戦争というのは、世界では、まだまだたくさんおこっているの、平和な世の中になってほしいと願っています。
亡くなられたみなさんの思いもこめ、私が願います。
- ぼうくうごうに入った時、ひめいや、呼び声があがっているのを聞いて、足のふるえがとまらず、昔の人はこんなくらしいせいかつをしていたんだ。命をもっと大切にしようと思った。戦争はいやでつらい事だなと思った。
- 福井県から、校外学習で来ました。
戦争というのは、こんなにひどいものなんだと改めて知りました。
これらを、福井に持ち帰って、みんなに広めていきたいです。
- *教科書に並べられた文字だけでは学べない。
小学校の頃 一度ピースおおさかに訪れてから 数年経ち今回再び訪れました。感じることは以前よりも多く頭が中々追いついてゆかないほどでした。
小学校の頃 歴史は過去のモノと学んできたように思われましたが
*今に未来があるように 過去にも今があった。
と時を経て考えるようになりました。
どんなことに對しても*当たり前、という表現に疑問を持つことがいのちを大切に輝かせる上で必要不可欠だと学ぶことが出来ました。感謝します。

寄贈品紹介

体験画「戦争の思い出」

早野朝子さんは咸興(かんこう・現朝鮮民主主義人民共和国)で生まれ育ち、終戦も現地で迎えました。その後、ソ連軍進駐下ではソ連兵の恐怖に怯えながら過ごし、厳しい冬では寒さと飢えに耐えました。1946(昭和21)年春になって母と妹弟とともに咸興を去り、38度線を越え、日本へ引揚げました。
早野さんが描き続けてきた体験画からは、外地での暮らしや終戦後の苦労、引揚の過酷さが伝わってきます。



- 団体見学の見学申込受付
- 戦争と平和に関する展示・映画上映
- 戦争体験の語り部さんのご紹介
- DVDやパネル等の団体向け資料貸出

資料寄贈者 2014.1～2016.3 (敬称略)

団体		
尼崎市民協働局人権課	呉市海事歴史科学館学芸課	東京都江戸東京博物館
尼崎市立地域研究史料館	原爆文学研究会	鳥取県立公文書館県史編さん室
NHK クローパルメディアサービス制作ルーム	公益財団法人世界人権問題研究センター	野田市郷土博物館・市民会館
大阪市教育委員会	国立民族学博物館	びあ株式会社
大阪市史編纂所	国立歴史民俗博物館	ひめゆり平和祈念資料館
大阪市立自然史博物館	堺市立中央図書館	枚方市教育委員会文化財課
大阪市立大学大学史資料室	滋賀県平和祈念館	広島市立大学広島平和研究所
大阪市立大学地域連携センター	品川区立品川歴史館	広島女学院同窓会
大阪大学国際公共政策研究科	重慶大爆撃訴訟団事務局	広島大学平和科学センター
山田康博研究室	しょうけい館	広島平和記念資料館
アジア太平洋研究会	昭和館	佛教大学文学部英文学科森谷峰雄研究室
大阪大学造勢記念センター	人権平和サークル	府民・市民の声を！実行委員会事務局
大阪府立近つ飛鳥博物館	吹田市立博物館	平和推進岡山市協議会
大阪歴史博物館	創価学会関西女性平和文化センター	明治学院大学国際平和研究所
沖縄県平和祈念資料館	創価学会関西青年部	立命館大学国際平和ミュージアム
沖縄県立埋蔵文化財センター	総務省	和歌山市立博物館
株式会社コールサック社	たつの市立埋蔵文化財センター	わたつみのこえ記念館
株式会社郷土出版社	田辺市教育委員会 文化振興課	
株式会社国民みらい出版	清州 4. 3 平和財団	
株式会社モースト	朝鮮通信使学会	
関西大学生協同組合「書評」編集委員会	東京大空襲・戦災資料センター	
京橋駅空襲被災者慰霊祭世話人会	戦争災害研究室	

個人

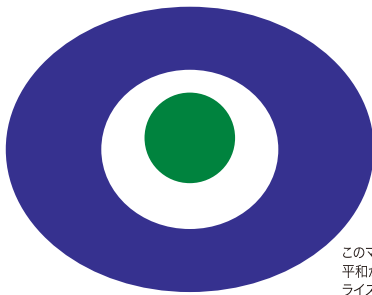
秋山 美代子	小國 笑美子	佐々木 誠	堂下 昭博	星屋 興平	山崎 茂樹
朝岡 サダミ	奥野 博	佐藤 栄一	徳田 勉美	マーデン・セール・ブラウワー	山田 恵子
安藤 広道	小田 康徳	志摩 喜代子	利田 孝司	松井 義男	山西 敏弘
飯田 清和	小原 八一	清水 俊明	中嶋 真理子	横井 義男	山田 喜信
池田 昌弘	織部 真佐美	白石 真理	中西 巖	松村 直近	山本 久美子
石井 俊子	影山 好一郎	菅 富士夫	長原 洋子	松本 貴一	横井 督
石塚 春雄	金岡 道子	菅原 完	中村 廣	三浦 恵津子	横山 篤夫
泉川 中芳	狩野 久乃	鈴木 一成	西村 和子	御園 經子	由上 龍一
醫山 淳生	亀川 密子	鈴木 祥文	橋本 寿克	三宅 宏司	吉田 房彦
岩谷 千春	川崎 一郎	角田 泰男	晴佐久 香織	宮武 利正	吉永 千恵子
岩見 修一	川西 碩二郎	須山 盛彰	平松 一夫	宮本 佐智子	吉村 隆文
上田 一恵	川端 圭子	瀬戸 寛治	廣岡 清	宮本 政一	ロバート・ヘーリンガー
浦田 欣孝	河邊 啓太郎	園部 百合子	穂渡 優子	明神 嘉鶴	上 渡次
江夏 清子	金城 真喜子	高木 市郎	福谷 公伸	村上 しほり	脇村 仁
大梅 克義	鯉井 邦彦	高木 邦彦	福山 琢磨	もず 唱平	和田 遼次
大前 治	工藤 洋三	高塚 久司	藤木 かね	百々 真理子	和田 節子
岡田 清治	久保 三也子	高山 恵太郎	藤田 一郎	森 徹士	和田 允宏
岡田 重信	小早 節子	田口 朋子	藤田 正治	森 良之	渡邊 剛
岡田 泰子	小山 隆	立花 正志	藤田 達也	安川 寿之輔	渡邊 治生
岡本 輝男	酒井 義武	田中 盛枝	藤原 栄暢	安原 花子	
岡山 洋子	佐古 寛一	辻井 賢一	古田 直大	山上 靖子	
小川 圭一郎	佐々木 和子	土井信 康夫	星野 光世	山崎 公雄	

資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料の収集、保存、展示等を行っています。後世に伝えていくために、資料収集へのご協力よろしく願いいたします。

<問い合わせ先>

ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080



このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

ピースおおさか

OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2017
(平成29) 1/20
No.45

編集・発行/公益財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
ホームページ <http://www.peace-osaka.or.jp>

展示リニューアルからまもなく2年を迎えます

ピースおおさかは、2015(平成27)年4月30日に「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」として、展示リニューアルをしました。新たな展示では、来館者にとって身近な地域の出来事である「大阪空襲」を中心に取り扱い、次世代を担う子どもたちが大阪で起こった空襲の実相や、大阪と戦争の関係を通して、戦争の悲惨さ、戦争の背景を理解するとともに、平和を自分自身の課題として考えることができるものを目指しました。

終戦から71年が過ぎ、戦後生まれが日本総人口の8割を超え、先の大戦を経験された方から当時の体験を聞くことのできる機会も少なくなってきました。戦争を知らない世代へ戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくという、ピースおおさかの果たす役割と使命は、ますます重要になっています。

開館25周年目の2016(平成28)年11月には来館者200万人を達成しました。リニューアルオープンから昨年12月末時点で、すでに13万人以上の方にご来館いただいています。大阪における平和ミュージアムとして、これからもたくさんの方にピースおおさかをご利用いただけるよう、頑張ってます。

ピースおおさか P R動画ができました！

府政だよりの大人気コーナー「もずやんの大阪ひとつとび！」。

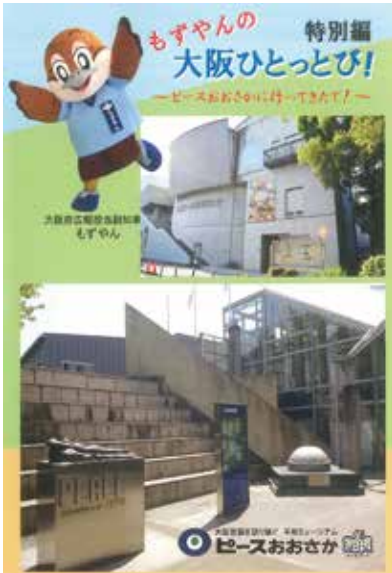
その特別編として「ピースおおさかに行ってきたで！」という、ピースおおさかのPR動画が完成しました。

動画では、ピースおおさかの展示内容がわかりやすく紹介されています。また、大阪府広報担当副知事である「もずやん」はもちろんのこと、大阪府民共済生活協同組合のキャラクターである「にっこりくん」と「にこりちゃん」、そしてピースおおさかのキャラクター「ピースバード」も出演しています。

ピースおおさかのホームページで動画のダイジェスト版を配信予定です。

皆様ぜひご覧ください！

僕も出演します！



ピースおおさか 展示おすすめポイント

①空襲の様子を再現!! (1階展示室)

1945(昭和20)年3月13日の第一次大阪大空襲後の大阪ミナミ・戎橋筋界隈の焼け跡ジオラマを壁面展示しています。

このジオラマと床面をスクリーンにしたプロジェクションマッピングで、空襲の様子を上空から再現しています。

映像は約5分で、20分ごとに上映しています。



②体感できる防空壕!! (1階展示室)

当時の資料や証言をもとに地域(町会など)で作られた防空壕を再現しています。中に入ると光や音で空襲を疑似体験することができます。

防空壕は、空襲から身を守るものとされていましたが、実際に作られたものの多くは、資料不足もあって、空襲に耐えうるものではありませんでした。

体験したあとは、防空壕に関する資料や証言などの展示で、理解を深めていただくことができます。



③展示情報が検索できる!! (2階展示室)

国民学校の教室のものをイメージして作った机があります。

机には、実物資料が展示されているほか、展示情報が検索できる「検索システム」があります。

液晶パネルをタッチすると、当時の子どもたちのくらしに関する情報を見ることができます。



見学の際は、多言語に対応した音声ガイドンス(日・英・中・ハングル)や、ホームページ上で公開している「見学ワークシート」(小学生・中学生用)もぜひご活用ください。

また、「展示のてびき」もピースおおさかで近々販売する予定です。

2014(平成26)年4月から2016(平成28)年12月までの主な事業

リニューアルオープン関連事業

(1)「リニューアルオープン記念式典」

日時: 2015(平成27)年4月30日(木) 午前9時30分～10時30分
セレモニー(相愛高等学校音楽科生徒の合唱、代表理事挨拶、大阪府知事および大阪府副市長祝辞)、内部見学、刻の庭献花

参加者: 100名

(2) リニューアル記念事業「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム(ピースおおさか)大阪から新たな平和発信に向けて～リニューアル記念講演会～」

日時: 2015(平成27)年5月31日(日) 午前1時30分～4時

第1部 「戦後70年の今、(大阪空襲)を考える ～米軍資料を手がかりに」
工藤洋三(元 徳山工業高等専門学校教授、空襲・戦災を記録する会全国連絡会議事務局長)

第2部 「児童文学の視点から平和を考える ～知っていますか? 大阪に模擬原爆が落とされたことを」
令丈ヒロ子(児童文学作家)

参加者: 102名

終戦の日平和祈念事業

(1)「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日時: 2014(平成26)年8月15日(金) 午後2時～3時30分
相愛高等学校音楽科生徒および相愛大学卒業生による平和コンサート、昇鶴祭等

参加者: 182名

(2)「講演・落語と歌で検証する戦争と平和」

日時: 2014(平成26)年8月17日(日) 午後1時30分～4時

第1部 講演「講演と落語と通じて平和を語る」
釈徹宗(相愛大学教授、浄土真宗本願寺派如来寺住職)

第2部 「歌で検証する戦争と平和」
高橋樺子(歌) 田中裕子(ピアノ) 池田定男(ギター)

ナビゲーター: もず唱平

参加者: 275名

(3)「講演会と歌で検証する戦争と平和」

日時: 2015(平成27)年8月2日(日) 午後1時30分～4時

第1部 講演「講演と落語と通じて平和を語る」
語り部: 中西巖(旧被服支廠の保全を願う会代表、広島平和記念資料館被爆体験証言者)

第2部 歌「疎開地でこんな歌を歌っていた」
ゲスト: 成瀬國晴(イラストレーター)
高橋樺子(歌) 田中裕子(ピアノ)

ナビゲーター: もず唱平

参加者: 223名

(4)「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日時: 2015(平成27)年8月15日(土) 午後2時～3時30分
相愛高等学校音楽科生徒および相愛中学校音楽科進学コース生徒、相愛大学音楽部卒業生による平和コンサート、昇鶴祭等

参加者: 230名

(5)「講演会と歌で検証する戦争と平和」

日時: 2016(平成28)年8月7日(日) 午後1時30分～4時

第1部 講演「71年目の夏休み」
成瀬國晴(イラストレーター)

第2部 歌
高橋樺子(歌) 田中裕子(ピアノ)

ナビゲーター: もず唱平

参加者: 183名

(6)「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日時: 2016(平成28)年8月15日(月) 午後2時～3時30分
相愛高等学校音楽科生徒および相愛中学校音楽科進学コース生徒、相愛大学音楽部による平和コンサート、昇鶴祭等

参加者: 231名

開館の日平和祈念事業

(1)「『学童疎開』を知っていますか
～戦後70年目に伝えたいこと～」

日時: 2015(平成27)年9月20日(日) 午後1時～4時

第1部 映画上映「ボクちゃんの戦場」

第2部 シンポジウム「学童疎開の伝え方」
コーディネーター: 奥田継夫
パネラー: 赤塚康雄、奥村誠一、吉田房彦

参加者: 116名

ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認めあって同時に存在し得る世界であることを表現しています。

(2)「戦争で家も家族も失った…
～戦後を生きぬいた戦災孤児たち～」

日時: 2016(平成28)年9月18日(日) 午後1時30分～4時

第1部 映画解説と体験講話

解説: 片山忠昭
体験者: 荒木準一郎

第2部 映画上映「蜂の巣の子供たち」

参加者: 117名

開戦の日平和祈念事業

(1)「ピースシネマスペシャルデイ
～開戦の日に終戦を考える～」

日時: 2015(平成27)年12月6日(日) 午後1時～午後4時

第1部 テーマ「終戦前日の空襲」
上映作品「大阪大空襲 vol.5 大阪大空襲 7月～8月」

第2部 テーマ「終戦前日の空襲」
上映作品「樺太 1945 年夏 氷雪の門」

参加者: 112名

(2)「ピースシネマスペシャルデイ
～クリスマスと戦争～」

日時: 2016(平成28)年12月4日(日) 午後1時30分～午後4時

上映作品「戦場のアリア」

参加者: 152名

大阪大空襲平和祈念事業

「幻の卒業式」

日時: 2016(平成28)年3月13日(日) 午後1時30分～午後2時
卒業証書受領者 9名

「『語り継ぎ部』育成のための講演会
～ヒト・モノ・キオクを伝える～」

日時: 2016(平成28)年3月13日(日) 午後1時30分～午後2時
出演者: 兼清順子(立命館大学国際平和ミュージアム学芸員)
北村美香(株式会社ノルテム取締役、元滋賀県平和祈念館学芸員)

第1部 経歴や活動等を交えた講演

第2部 「語り継ぐ」をテーマとしたシンポジウム

参加者: 89名

『刻の庭』入場

休館期間中に『刻の庭』を開放して希望者の方に献花していただきました。

日時: 2015(平成27)年3月14日(土) 午前10時～12時

入場者: 76名

戦後70年記念協力・連携事業

(1)「平和をテーマにした子どもの絵画募集等事業」
(大阪府事業、ピースおおさか協力)(2)「大阪空襲等の写真パネル作成事業」
(大阪府事業、ピースおおさか協力)

特別展

(1)「ピースおおさか収蔵品展 (VIII)」

期間: 2014(平成26)年4月29日(火)～8月31日(日)

参加者: 30,240名

(2)「収蔵品から見る戦時下の人々の暮らしと大阪空襲」

期間: 2015(平成27)年6月16日(火)～10月30日(金)

参加者: 28,758名

(3)「学童疎開と子どもたち」

期間: 2016(平成28)年1月29日(金)～5月29日(日)

参加者: 19,144名

(4)「戦時中の手紙 ～文字から伝わる人びとの思い～」

期間: 2016(平成28)年7月26日(火)～12月27日(火)

参加者: 36,924名

そのほか、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪や府政学習会、平和紙芝居、戦跡ウォーク、ウィークエンド・シネマ、出前展示等も実施しました。